

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。（建築基準法施行令第93条）

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県県土整備部建築課

1.2 調査位置図



案内図 縮尺 1:25,000

⊙ 調査地

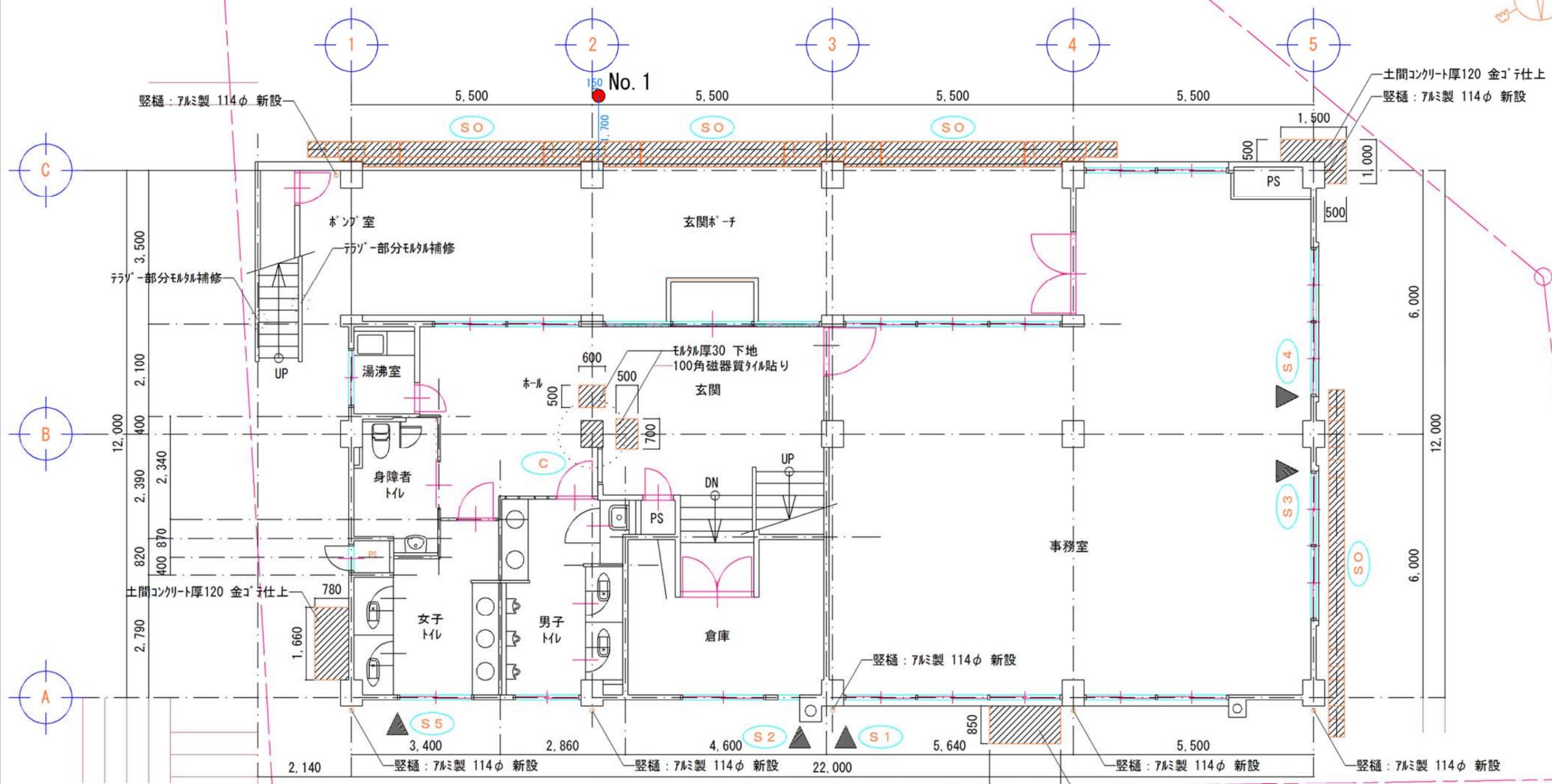
(国土地理院発行 1/2.5 万地形図「宇都宮西部, 宇都宮東部」より抜粋)

改修後1階平面図 S:1/100

凡例	
	改修範囲を示す
	耐震スリット位置を示す
	外側直付けブレースを示す (ハラルユニットフレーム)
	柱補強位置を示す

● ボーリング箇所

1.620 調査部分



調査位置図 S=1:100

ボーリング柱状図

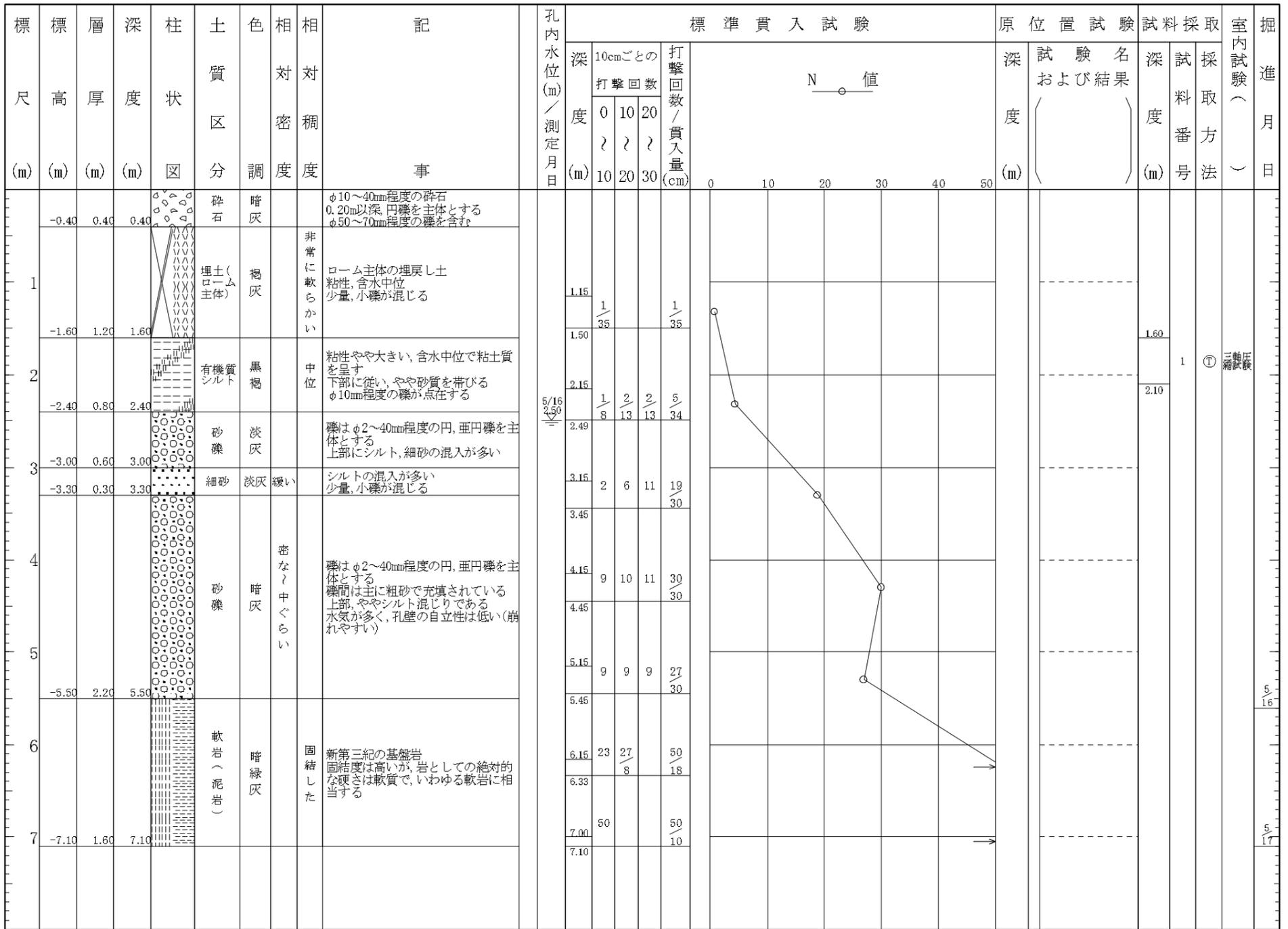
調査名 北庁舎2号館耐震改修工事

ボーリングNo 1

事業・工事名

シートNo 1

ボーリング名	No. 1		調査位置	宇都宮市昭和2-485-6			北緯	36° 34' 02"	
発注機関	栃木県県土整備部建築課			調査期間	平成 25年 5月 16日 ~ 25年 5月 17日		東経	139° 52' 57"	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	設計GL±0m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 0°	使用機種	試験機 KR-100H2 エンジン NFD-10
総掘進長	7.10m	度	0°	向	0°			ハンマー落下用具	半自動落下方式
								ポンプ	V-6B



<凡例> 柱状図および土質区分

第1分類

区分	分類名	図模様
土質材料	礫 (G)	
	礫質土 (GP)	
	砂 (S)	
	砂質土 (SP)	
	シルト (M)	
	粘粒土 (C)	
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘粒土 (V)	
高有機質土 (腐植土) (Pt)		

第2分類

区分	分類名	図模様
補助記号	砂質 (S)	
	シルト質 (M)	
	粘土質 (C)	
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混じり (-R)	
	砂利、礫混じり (-G)	
	砂混じり (-S)	
	シルト混じり (-M)	
	粘土混じり (-C)	
有機質土混じり (-O)		
火山灰混じり (-V)		
貝殻混じり (-Sh)		

第3分類

区分	分類名	図模様
岩石材料	硬岩 (GR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
特殊材料	玉石 (G)	
	卵石 (礫石) (Gw)	
	シラス (Si)	
	スコリア (Sc)	
	火山灰 (VA)	
	ローム (La)	
質土	層状土 (Sa)	
	層状土 (Fl)	
	腐植物 (F)	

試料採取方法

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ () による

備考